



在宅療養を支える皆さまのための

令和4年度 在宅療養支援研修(従事者向け)
多職種連携グループワーク

医療機関及び介護保険サービス事業者における在宅療養に必要な知識、技術の向上及び多職種の連携強化を図ることを目的にしています

資料2-2①

在宅療養と 8050の家族の支援

【講義・グループワーク講評】

日本橋サッククリニック院長

戸所 綾子 先生

日時

7月25日(月) 午後6時30分～午後8時

会場

中央区役所8階 大会議室(中央区築地1-1-1)

区役所正面、左側の職員通用口からお入りください

内容

講義、グループワーク、質疑応答

対象者

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護サービス事業所職員(ケアマネジャー、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)等の在宅療養を支える皆さま

定員

50名(先着順)

申込

6月20日(月)～7月13日(水)

裏面の申込フォーム記入の上、FAX、郵送またはメールで申込みください。

【問合せ先】中央区福祉保健部 介護保険課 地域支援係 電話 03(3546)5379

申込方法：申込フォームに記入して以下のいずれかの方法で申し込みをしてください。

・ FAX 03-3543-0236

・ 郵送 〒104-8404 中央区築地 1-1-1

・ メール zaitaku@city.chuo.lg.jp

(メール文に申込フォームの項目の回答を記載してください。)

申込期間：令和4年6月20日(月)～7月13日(水)

※ 定員50名 6月20日から先着順。

※当日はマスク着用、事前体温測定、体調不良時は欠席にご協力ください。

申込フォーム

(宛て先) 中央区福祉保健部 介護保険課 地域支援係

令和4年度 在宅療養支援研修(従事者向け)

「在宅療養と8050の家族の支援」

日 時：7月25日(月) 午後6時30分～午後8時

場 所：中央区役所8階大会議室(中央区築地1-1-1)

所属機関	申込担当者名	
所在地 〒	電話番号	
★当日の参加者へ配布する参加者名簿に事業者名・名前を掲載してよろしいですか？	はい・いいえ	
所属部署	職種	参加者 名前(ふりがな)

令和4年度 在宅療養支援研修(従事者向け)アンケート結果

1 講演概要

- 日時: 令和4年7月25日(月) 午後6時30分～8時
- 会場: 中央区役所8階大会議室
- 講演:【演題】 在宅療養と8050の家族の支援
 【講師】 日本橋サングリニック 院長 戸所 綾子 氏
- グループワーク:『家族との関わりで難しかったこと、工夫したこと、アドバイスが欲しいことなどを話そう』
- 参加者: 34名 (申込み: 40名 / キャンセル: 6名)

(単位:人)

職種	事前申込	参加者
歯科医師	3	3
薬剤師	6	6
看護師	9	8
保健師	1	1
主任介護支援専門員	4	4
介護支援専門員	11	8
理学療法士	1	1
社会福祉士	4	2
歯科衛生士	1	1
合計	40	34

2 アンケート回収

アンケート回答者数 34名 (回収率100%)

3 アンケート結果

問1 勤務先でご活用されている職種であてはまるものを○で囲んでください。

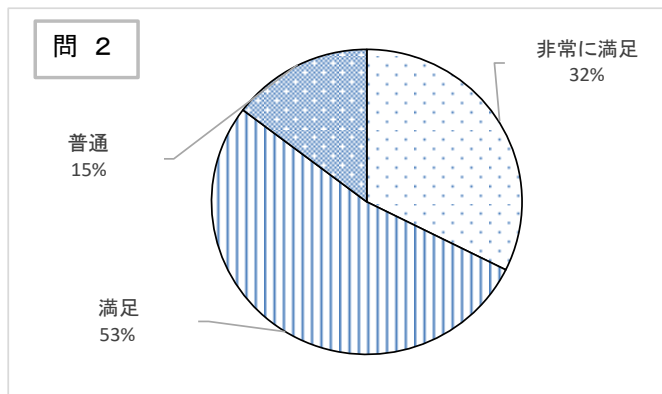
(単位:人)

職種	回答者
歯科医師	3
薬剤師	6
看護師(保健師含む)	8
介護支援専門員 (主任介護専門員含む)	11
理学療法士	1
社会福祉士	3
歯科衛生士	1
未記載	1
合計	34

問2 本日の研修の参加満足度について、該当するものに○印を付けてください。

(単位:人)

	非常に満足	満足	普通	不満足	非常に不満足	未記載
歯科医師		2	1			
薬剤師	1	4	1			
看護師	3	3	2			
介護支援専門員	5	5	1			
理学療法士	1					
社会福祉士	1	2				
歯科衛生士		1				
未記載		1				
合計	11	18	5	0	0	0



(単位:人)

	回答者数
非常に満足	11
満足	18
普通	5
不満足	0
非常に不満足	0
未記載	0
合計	34

【理由】

1. 「非常に満足」の理由

職種	理由
薬剤師	知らない職種の仕事や悩み、行動等を知ることができた。
看護師	どのような支援が考えられるかと考える時にイメージがわかかなかったのだが、エリクソンの発達課題の例で理解しやすくなった。 グループワークができたこと。 精神の看護は介入するスタッフも孤独を感じたり、孤立しやすいのでサポート体制を知ることが出来て良かった。
介護支援専門員	とても勉強になった。「発達段階のどこでつまずいたのか」の視点は“なるほど”と思った。 精神科疾患の方は自分で言い出せず、初診までにこれほど時間がかかることを知り驚いた。 保健センターの保健師は担当エリアが決まっていることを知り、是非相談に行きたいと思った。 精神科医師の話を知ることができ、大変勉強になった。 相談先について困っていたので、保健センターなど具体的に教えていただきよかった。 8050問題の研修を受けたことがなかったので良い機会だった。
理学療法士	今後のサービス提供に活かせる内容だった。

2. 「満足」の理由

職種	理由
薬剤師	各職種の患者様・ご家族様へのサポートについて理解を深めることができた。様々な患者様の事例を知ることができた。(2) 他の職種の方と関わる機会が少なく、よい機会だった。
看護師	様々な事例を知ることができた。 コロナ禍であるが、多くの職種の方から直接話が聞けた。 発達障害の支援は50歳代になるより前、幼少期から必要であると思った。 8050問題について事例を共有できてよかった。グループワークの時間が少し短いように感じた。
介護支援専門員	様々な職種の立場から意見が聞けた。
歯科衛生士	様々な事例を伺い、勉強になった。
未記載	久々のグループワークだった。事例をいろいろ聞け、アドバイスも頂けて参考になった。

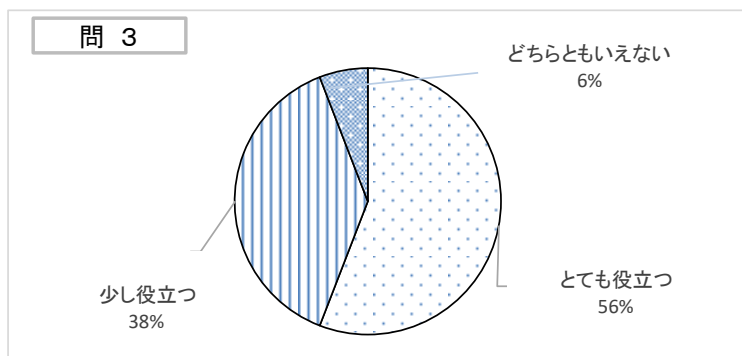
3. 「普通」の理由

職種	理由
歯科医師	自分の知識が十分ではなかったため。
薬剤師	皆さまが良い支援を行うため、努力されていることが理解できた。 精神科患者様の罹患年数や今の状態を知ることは難しい。薬の副作用も理解してあげるとよいと思う。
介護支援専門員	受診に繋がらなかった方の話や支援方法などを聞きたかった。

問3 研修の内容はお仕事に役立ちますか。

(単位:人)

職種	とても役立つ	少し役立つ	どちらともいえない	あまり役立たない
歯科医師	1	1	1	
薬剤師	2	4		
看護師	4	3	1	
介護支援専門員	7	4		
理学療法士	1			
社会福祉士	2	1		
歯科衛生士	1			
未記載	1			
合計	19	13	2	0



(単位:人)

	回答者数
とても役立つ	19
少し役立つ	13
どちらともいえない	2
あまり役立たない	0
合計	34

1. 「とても役立つ」の理由

職種	理由
歯科医師	各部署の方から話が聞けて良かった。
薬剤師	相談できる場所が確認できた。どのような支援ができるのかがわかった。
看護師	保健センターに相談できることを知ることができた。支援者からはなかなか支援を持ちかけにくいので、とても参考になった。
	発達障害の話がきけてどこに相談すべきかわかった。
	「発達段階のどこに課題があるか」という考えがすごく参考になった。
介護支援専門員	精神疾患が関係するトラブルが多いため、専門医からのご意見を伺うことができ、参考になった。
	グループワークで参考になる助言をいただいた。
	高齢者の方にも精神疾患と発達障害の鑑別、それが合併しているのかなどの見極めが必要な方がいらっしやると思うので、とても役にたった。
	またこのようなテーマで開催していただきたい。
	支援の考え方などをまとめる際に資料が参考になるのではないかなと思う。
理学療法士	家族の関わりや相談できる場所を知ることができた。
社会福祉士	本日の学びを明日からの業務に活かしたい。職場でも発言したいと感じた。
未記載	同じようなケースに役立てたいと思う。

2. 「少し役立つ」の理由

職種	理由
薬剤師	患者様・ご家族様への別の切り口でのサポートを知ることができた。
看護師	精神科看護の関わりが現時点では少ないため今後に生かしたい。
	相談場所がわからないこともあったが、いろいろな部署を知ることができた。
	グループワークがあり、意見交換ができてよかった。
	支援につなげること、そのためにアプローチポイントを聞けてよかった。
歯科衛生士	患者様に少しでも役立てることができればと思う。

3. 「普通」の理由

職種	理由
歯科医師	ひきこもりに対するの日常直面するシチュエーションがないため
介護支援専門員	受診に繋がらなかった方の話や支援方などを聞きたかった。ケアマネジャー以外の介護職は解決に向けての実現策、具体策をもっとききたのではないかなと思う。

問4 本日の研修でお気づきになったこと、ご意見等があればご記入ください。

職種	理由
歯科医師	ひきこもりに至る原因が解決されず、かなり高齢期まで引きずる可能性のあること。
薬剤師	ご家族との関わりの重要性を理解していく。 マスクを着用しているため声がこもり聞きずらかった。
看護師	8050または805020問題で「支援対象者様が亡くなられた後の家族の支援は」など継続的な支援を考えながら関わることが大切と教えていただいた。 グループワークを通して職種の立場が異なるが、問題視点が同じであることを再確認できた。 声が聴きにくい。
介護支援専門員	もう少し先生のお話を伺いたかった。 地域の多職種がチームとなり、今後支援していく大事な社会問題だと思う。 高齢者でない方のつなぎ方が難しい。結局何もしないことになってしまう。 区が関わっている研修なので8050問題や支援策、支援ルートについても話があってもよかったと思う。グループワークの時間が短い。ちなみに「何を学べるか」具体的に書いてる方がよい。 講義中後方から小さな声だが聞こえ、ノイズとなったのが残念だった。 グループワークが聴きにくい。
社会福祉士	地域の資源を知ること、また在宅を支援する方々としっかりと手をつなぎ、どの世代の人でも支援することができるように努めたいと感じた。 エリクソンの発達段階を仕事に活かしたいと思う。

問5: 今後、実施して欲しい研修テーマや内容があればご記入下さい。

職種	理由
薬剤師	ケアプランの作成に必要な行程。 次回在宅療養支援研修が行われるときは教えてほしい。
看護師	栄養について。胃ろう、褥瘡など。 うつ病とおくすり(支援について、コミュニケーションのポイント)。
介護支援専門員	精神科受診を嫌がる人が受診に繋がるための方法。 精神科疾患。 次期改正について。 セルフネグレクト。アサーティブコミュニケーション。
社会福祉士	8050問題については今後も取り上げてほしい。切り口を変えてもおもしろいのではないかと思う。